

平成30年度 中央区長マニフェスト

中央区長 渡辺 東一

マニフェスト

中央区は、江戸時代から続く湊町としての歴史文化と商業機能や交通インフラをはじめとした都市機能が集積し、地域経済のけん引役としての機能を担っています。

一方で、人口減少社会への対応、中心市街地の空洞化などの課題も抱えています。

こうした課題に適切に対応するには、「自助、共助、公助」の理念のもと「協働」による取り組みが欠かせないことから、地域とともに課題解決に取り組む区役所を目指します。

この方針のもと、中央区は今年度、次の3つの取り組みを重点的に実施します。

- 1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。
- 2 地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。
- 3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。	
現状 (課題)	<p>中央区では、地域特性や課題に沿った人口減少社会に対応するための取り組みが、既に地域各所で行われています。一方で、この地域の活力を保つために必要な人材・資金・場（拠点）などの活動資源が不足しています。</p> <p>また、地域に点在する未利用公共用地のうち、活用方針が決まっていない用地においては、当該地域の人口減少対策に資する活用を進める必要があります。</p>
課題 解決策	<p>目標</p> <p>人口減少社会に対応するため、地域コミュニティ協議会と区とが一層連携を深めながら、地域の活動資源の充足と人口増の観点を重視した未利用公共用地の活用を図ります。</p> <p>区職員が地域コミュニティ協議会の活動に積極的に参加することで地域課題を把握し、地域の活動実態に沿った、細やかな支援を提供するとともに、「多様な人材の地域参画」、「活動資金の確保」、「活動の場の確保」などへの支援を通じて、地域において活動する人や団体の活動資源の充足を図ります。</p> <p>また、未利用公共用地の活用にあたっては、当該地域の人口増につながる観点を重視し、迅速に活用方針を決定し、整備を進めます。</p>
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と地域が求める人材の結びつきを深めるための支援 ・地域コミュニティ協議会運営助成金、地域活動補助金による活動資金支援 ・地域活動の場の創出や利便性向上に関する検討 ・未利用公共用地に係る市場性調査（サンディング調査）等の実施

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	1	達成数	年度末に実施
今後の方針					

2 地域と協働して、安心・安全な地域づくりを推進します。		
現状（課題）	<p>福祉、防災・防犯、子どもたちの健全育成など、地域の様々な課題解決のために、地域力の強化が必要です。</p> <p>中央区は、高齢化率は全市で一番低いものの、中学校区別で見ると、市内で最も高い地域があり、独居高齢者数も全市で一番多くなっています。子育て世代においては、核家族化や地域とのつながりの希薄化により身近に相談・支援者がいないなど、育児不安を抱える保護者への支援が重要です。高齢者や障がい者、子育て世帯が地域で孤立することがないように、地域、ボランティア、行政などが協働して、支え合っていく必要があります。</p> <p>中央区の特定健診受診率は全市で最も低く、特に40～50歳代の低さが大きな課題です。また、全市と比較すると健診結果における血糖有所見率が高く、糖尿病予防、生活習慣の改善に取り組む必要があります。</p> <p>東日本大震災以後、防災への意識が高まり、資機材購入の助成など、自主防災組織の活動強化を進めてきました。どのような災害でも、市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくりが必要になっています。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>地域との協働により、支え合いによる地域づくりを進めます。</td> </tr> </table> <p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。具体的には、子育て世代から高齢者まで多世代が交流し、ともに地域づくりを進めるきっかけとなるよう「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催支援や、障がいのある人の人格、人権が尊重され、社会的障壁のない共に生きる社会の実現のため、障がい者への理解を深める啓発事業などに取り組みます。</p> <p>さらに、健康寿命の延伸に向けて、特に健診受診率の向上、糖尿病予防に向けた生活習慣改善の事業に集中的に取り組めます。</p> <p>また、地域で安心して子育てできるように、保健師、助産師などの専門職に気軽に相談できる場や仲間づくりの場を提供するとともに、子育て講座の開催や子育て情報の積極的な発信を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築します。</p> <p>都市型災害への対応を図るため、自主防災組織等を対象とした研修会を開催し、災害発生後の初期対応など、地域が主体となる体制づくりを進めます。</p> <p>また、避難行動要支援者対策では、支援者と要支援者の顔の見える関係づくりを推進するとともに、災害に強い地域づくりを進めていきます。</p>	目標
目標	地域との協働により、支え合いによる地域づくりを進めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向け、地域主体の支え合い・助け合い活動を支援 ・健康寿命延伸事業 ・みんなでつながる子育てほっとサポート事業 ・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練の実施 ・中央区避難行動要支援者関係づくり事業 	

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	年度末に実施
今後の方針					

3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。					
現状 (課題)	<p>中央区には、湊町新潟を代表する様々な歴史的建造物や貴重な文化が数多く残っており、2019年の開港150周年を一つの節目として、これらの地域資源に対して区民に関心を寄せてもらい、その魅力や価値を高めるための取り組みを行っています。</p> <p>また、日本海や信濃川、鳥屋野潟といった豊かな水辺環境を活かした賑わい創出や、環境美化活動などにも地域とともに取り組んでいます。</p> <p>これらの取り組みを通して、区民が地域資源に誇りと愛着を持ち、次世代に引き継いでいくことが必要となっています。</p>				
	課題解決策	<p>目標 地域との連携・協働により、中央区の自然、文化、歴史などの地域資源に対する魅力を区民が共有し、シビックプライドの涵養につなげます。</p>	<p>開港150周年を見据え、北前船と関係のある伝統的産業に関心を寄せてもらえるよう、関連事業を実施していくほか、発酵食に関する小学生向けの冊子を活用し、次世代への継承を図っていきます。また、湊町新潟の発展を支えてきた水辺や歴史的建造物を利活用し、まちなかを楽しみながら回遊する取り組みを行っています。</p>		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区えんでこ（まち歩き）事業 ・北前船がもたらした伝統的産業PR事業 ・オフィスアートストリート ・「とやの物語《NEW STORY》」の開催 ・文化施設（旧齋藤家別邸・旧日本銀行新潟支店長役宅）の管理運営 ・健幸サイクル環境整備事業（ぐるりん新潟島）の推進 ・区民協働森づくりの推進 				

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	年度末に実施
今後の方針					

平成30年度 中央区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 地域コミュニティのさらなる活性化に向けて、地域との連携を深めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果		補足・参考指標
1	地域課	地域コミュニティ協議会(以下、コミ協)の活性化に向けて、区長はじめ区職員がコミ協の活動に積極的に参加することで地域課題を把握し、活動実態に沿った細やかな支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 地域と地域が求める人材の結びつきを深めるための支援 地域コミュニティ協議会運営助成金、地域活動補助金による活動資金支援 地域活動の場の創出や利便性向上に関する検討 未利用公共用地に係る市場性調査(サウンディング調査)等の実施 	コミ協の総会など行事等への区職員の参加回数	111回	186回	174回	180回		<ul style="list-style-type: none"> 中央区のコミ協数22団体×8人(総会3人、区長懇談会3人、行事2人) 	

2 地域と協働し安心・安全な地域づくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果		補足・参考指標
1	健康福祉課	地域全体での子育て支援と多世代が交流できる環境づくり、障がいのある人の人格、人権が尊重され、社会的障壁のない共に生きる社会の実現を目指します。	赤ちゃん誕生お祝い会開催	開催団体数			7	8			
2	健康福祉課	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 50歳代の特定健診未受診者に健診の重要性周知のためのリーフレットを郵送し看護職による家庭訪問や電話による受診勧奨を実施 ヘルシー糖尿病予防ランチ付健康教室の開催 区役所内のプロジェクト会議の開催 	リーフレット郵送者のうち健診を受診した人数				120		<ul style="list-style-type: none"> H29年度 40歳代の未受診者への受診勧奨 2421人郵送し100人受診(約4%) H30年度 50歳代の未受診者約2500人の5%が受診することとした 	
3	健康福祉課	学習機会の提供や仲間づくりを支援し、子育ての不安、負担の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなであつなぐる子育てほっとサポート事業」 妊カフェ・育カフェ 子育て講座「たっち！」 母親支援ほっとサポート「ママのほっとタイム」 子育て情報発信「たっち！」作成 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦、乳児の参加人数 子育て講座の保護者参加人数(乳児コース) 子育て情報発信「たっち！」アクセス数 			<ul style="list-style-type: none"> 妊婦・夫 186 乳児 358 乳児 198 幼児 138 8784 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦・夫180 乳児 380 乳児 290 10000 		<ul style="list-style-type: none"> 育カフェは6回増え、24回実施 子育て講座(乳児)は6回増え、18回実施 平成29年度平均アクセス数 732回/月 	
4	総務課	避難所運営訓練を通じ、中学生、地域、防災士の連携を強化します。	中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	(H29まで)参加者人数	82(人)	92(人)	107(人)	80%		地域防災力向上のために中学生に期待される役割を明示し、災害時には率先して行動するよう説明する。	
5	総務課	避難行動要支援者と支援者の顔の見える関係づくりを推進します。	中央区避難行動要支援者関係づくり事業を通じて、顔の見える関係づくりを推進	啓発品交付決定要援護者人数(人)	427	502	502	670		支援者へ情報提供している避難行動要支援者数4,699人(H29.10.1現在)	

平成30年度 中央区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H30結果		補足・参考指標
1	地域課	「まち歩き」を実施することにより、まち歩きの楽しさをPRし、まちの魅力を再発見する機会を提供します。	・中央区えんでこ(まち歩き)事業	「まち歩き」参加者数	779人	769人	898人	800人		【H29実績】 ・35回開催 ・定員 925人 ・参加者 898人 ・参加率 97.1%	
2	建設課	自転車道を活用し、健幸都市「SWC」の実現や、歴史・文化などの観光資源も相互作用させながら、誰でも気軽に楽しく利用できる道づくりに努めます。	・ぐるりん新潟島の実施設計策定(全延長 L=2,200m) ・整備延長(L=500m)		計画策定	整備延長 L=460m	整備延長 L=520m	整備延長 L=500m		・中央区ビジョンまちづくり計画(道路空間の健幸プラットフォームの構築) ・新潟西海岸賑わい創出プラン(ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)の改良)	
3	建設課	西海岸公園の海岸林について、防風対策などの必要性・重要性を周知し、海浜植物園周辺に地域や団体・有識者らと協働でクロマツの植樹を行います。	・植栽計画作成 全体N=4,900本 ・植栽本数 N=800本			土壌調査 計画策定	クロマツ植栽 800本	クロマツ植栽 800本		・モデルエリアとして事業実施した市営汐見台住宅跡地の継続事業	